

小学校 2年 音楽科

考える感じる × 話す・聞く 書く

育成したい国語力

「わけ」を明らかにしながら、話したり、聞き取ったり、書いたりする。感じたことや伝えたいことについて相手にわかるように話す。感じたことや伝えたいことについて話し手が伝えたいことを聞き取る。

題材名 「いい音を見つけてあそぼう」

題材の目標
・音や響きの違いに気付いたり、音の出し方を工夫したりすることで、音に関心をもつようにする。
・音色の違いを生かして音の組み合わせを工夫したり、拍の流れに乗って演奏したりする。

題材の流れ

第1次(3時間)
虫のこえ
・歌詞に出てくる虫や虫の鳴き声について話し合い、歌い方や音の工夫をする。
シンコペーテッドクロック
・楽器の音色の違いを感じ取る。

第2次(2時間)(本時1/2時)
「すてきな音」をみつけよう
・身のまわりの物を使って、鳴らし方を工夫して「すてきな音」を探す。(本時)
・よく似た響きの音でグループ分けをする。

第3次(3時間)
かぼちゃ
・曲の気分を感じながら歌う。
・リズム打ちのパートを見つけた音や打楽器で演奏する。

本時の目標
・音色の違いに関心を持ち、「すてきな音」を探している。
【音楽への関心・意欲・態度】

本時の目標

国語力育成の視点
本題材は、「音色」に重点を置きながら、いろいろな楽器や身の回りの物を使って、音色の特徴や奏法による音色の違いについて、感じたことを言葉で伝え合うことを通して国語力の育成を図ります。音を聴いて感じたことや思ったことを話したり聞いたりすることで、互いに認め合い、音を合わせる楽しさを感じることを目指します。

導入

気持ちほぐし (一斉)
・気持ちのよい声を出す。(虫の声などの歌唱等)
・リズムで遊ぶ。(提示したリズムカードを見て手をたたく。)

展開1

【「すてきな音」をみつけよう】
めあての確認(一斉)
「すてきな音をみつけよう！」
音探し(個人)
・グループごとに材料を1セット選ぶ。
・鳴らし方を工夫して「すてきな音」を探す。
・「すてきな音」について、友達に伝えたいことをワークシートに書いて整理する。

視点2

感じる力
演奏を聴く児童は、演奏者の思いを受け止めながら聴き、自分の感じたことを相手に分かりやすく伝えます。「その音を聴くとどんなことが頭に浮かんでくるか」「何の音みたいか」など具体的にイメージします。

展開2

【「すてきな音」の交流】
音の交流(グループ)
・グループの中で一人一人が見つけた「すてきな音」を演奏し、説明する。
・演奏について、感想や質問、アドバイスなど思ったことや気付いたことを交流する。
音の交流(一斉)
・グループの中で見つけた「すてきな音」を全体に紹介し、交流する。

児童の交流の例

A: わたしは、くぎと糸と長いはしを選びました。はじめに、くぎ6本を糸で長いはしにつるします。次に、別のくぎで6本のくぎをそっとさわっていきます。小さい音だけれど、とってもかわいいところがすてきななと思いました。演奏してみます。みなさんは、どう思いましたか?
C: 風の音みたいです。
C: 小さい音だね。そよ風みたい。
C: もう少し、釘をつけてつるしたら、もうちょっと音がするんじゃないかな。
C: 強くさわったら大きな音が出るかもしれないよ。
C: 強いめにさわって鳴らしてみてください。
A: こんな感じ? ~~~~~
C: 強くさわったら、がちゃがちゃちょっとうるさい感じがするなあ。やっぱり、そっとさわるほうがいいと思います。
* A: 演奏者 C: 聴き手

まとめ

振り返り
(個人・一斉)
・自己評価をする。
・授業の感想を交流する。

視点3

考える力
演奏する児童は、自分の思いがしっかりと伝わるように、「相手」を意識して話すようにします。友達との交流の場面では、相手が何を伝えようとしているのかを考えながら聞いたり、相手に分かるように話したりします。

視点4

感じる力
演奏の仕方を工夫したり音のイメージを広げたりできるように、児童が感じたことを素直に伝え合うことを大切にします。

ワークシート

音楽ワークシート
-「すてきな音」をみつけよう-
2年 名前()
なにをつかって、どんなふうに えんそうするかを、もだちにわかるように せつめいしましょう。
何をつかいますか。
わたしは、くぎと糸と長いはしを つかいます。
どこをどんなふうにして音をだしますか。
くぎ6本を長いはしにくくりまわります。そして、もう1本のくぎでそっとさわって 音をだします。
どんなところが「すてきな音」とおもいますか。
小さい音だけれど、とってもかわいいところがすてきな音とおもいます。

